

R5年4月24日

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。

下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。

また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。

もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

研究課題名	切除不能な進行あるいは再発低異型度子宮内膜間質肉腫（Low Grade Endometrial Stromal Sarcoma: LGESS）に対するホルモン療法の有効性に関する後方視的調査研究
対 象	2011年1月から2021年12月に兵庫県立尼崎総合医療センターにて進行・再発LGESSに対してホルモン療法(medroxyprogesterone acetate: MPA、アロマターゼ阻害薬、Gonadotropin releasing hormone: GnRH agonist)を開始した患者さん。
研究期間	承認日から2028年6月30日までを予定しています。
研究目的	切除不能な進行あるいは再発低異型度子宮内膜間質肉腫(LGESS)に対するホルモン療法について後方視的に調査を行い、治療方法およびその効果、安全性について検討します。
方 法	診療記録より臨床情報を収集します。収集する臨床情報には、年齢、性別、身長、体重、Performance Status、高血圧の既往、血栓症の既往、LGESS進行期、進行例/再発例、手術情報、化学療法既往、再発の既往、再発情報、再発後手術、ホルモン療法情報、ホルモン療法の最良総合評価、ホルモン療法の有害事象、無増悪情報、生存情報があります。研究結果は学会および論文にて公表します。
個人情報	臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。
問い合わせ先	兵庫県立尼崎総合医療センター 産婦人科 〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町 2-17-77 TEL: 06-6480-7000 FAX: 06-6480-7001

研究責任者：佐藤 浩

静岡県立静岡がんセンター 婦人科

〒411-8777 静岡県駿東郡長泉町下長窪 1007 番地

Tel: 055-989-5222 Fax: 055-989-5783

研究責任者：川村温子